

令和 5 年度 再評価調書

事業名	地すべり防止事業	ふりがな 地区・路線名	しもみよかげ 下名影地区
事業主体	徳島県	関係市町村	三好市（旧山城町）
事業概要	<p><b>(事業目的)</b> 本地区は、三好市山城町を流下する吉野川左岸に位置しており、林野庁所管の地すべり防止区域（下名影地区）に指定されている。 平成26年8月に襲来した台風11号、12号に伴う豪雨により地すべり活動が活発化し、地すべりブロックを形成していた山腹斜面において、地すべりが発生するとともに、側方の亀裂は民家の敷地及び私道、下方の林道テクジ線に顕著に発生した。 民家が建っている斜面の遷急線付近は非常に不安定な状態にあり、降雨等を誘因として更なる被災が想定される。また、崩壊地頭部には微段差地形が見られるなど、上部への拡大崩壊も懸念されている。 これらの状況を解消するため、地すべり活動の抑止・抑制を図ることを目的として地すべり対策工事（アンカー工、暗渠工ポーリング）を行ってきた。</p> <p><b>(事業内容)</b> 事業対象区域： 11.90ha 整備対象区域： 1.20ha 保全対象： 人家8戸、道路（国道他）0.55 km 主要工事： アンカー工 199.0孔、408.2m 暗渠工ポーリング 10孔、350.0m 総事業費： 450,000千円 事業予定期間： 令和元年度～ 令和8年度（8年間）</p>		
	評価項目	<p><b>(事業の進捗状況)</b> 令和4年度までに、アンカー工-96孔、暗渠工ポーリング工-10孔等を実施している。 令和5年度末における事業費ベースでの進捗率は61%となっている。</p> <p><b>(関連事業の整備状況)</b> 該当なし。</p> <p><b>(社会経済情勢の変化)</b> 本地区は吉野川上流域に位置しており、基幹産業である林業の他、ラフティングやカヌーといった溪流を利用した観光が盛んに行われている。年中を通して有る豊富な水量は、地域の豊かな森林から供給されているものであり、地域住民は地域産業として存在する森林への関心度が高い。 また、近年の線状降水帯等により頻発する土砂災害に対する地域住民の防災意識については、自主防災組織などの意識向上が見られ、生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。</p> <p><b>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</b> 特になし。</p> <p><b>(費用対効果の分析)</b> 地すべり活動が顕著なブロックを優先的に施工し、暗渠工ポーリングにより地下水位の上昇を抑制し、地すべりの危険性を軽減するとともに、引き続き抑止工による対策を進め、事業効果の早期発現を目指す。 ・投資効率＝総事業効果額／総事業費＝ 1.46（国の採択基準は1.0以上）</p> <p><b>(受益者・関係機関の意向)</b> 三好市及び地元は、事業の早期完成を強く要望している。</p> <p><b>(事業の実施方針)</b> 継続して事業を実施する。</p>	